シースネイク マイクロ ハンディスコープII
カメラヘッドケーブル（φ17mm/φ9.5mm）

取扱説明書

シースネイク マイクロ ハンディスコープII（φ17mm カメラヘッド）
カタログ番号 31118

シースネイク マイクロ ハンディスコープII（φ9.5mm カメラヘッド）
カタログ番号 31123

⚠警告

本機を使用する前に取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

もくじ

安全上の記号
安全上の注意事項---------- 3
作業場所での安全事項---------- 3
電気に関する安全事項---------- 3
作業員に関する安全事項 ---------- 3
電気機器の使用と取り扱い---------- 4
電池に関する安全事項---------- 4
点検 ---------- 4
シースネイク マイクロ ハンディスコープIIの安全事項---------- 5
機能概要・仕様・標準装備---------- 5
機能概要---------- 5
通常の使用用途---------- 5
仕様 ---------- 6
標準装備---------- 6
本機の組み立て ---------- 7
電池の入れかた---------- 7
カメラヘッドケーブルアッセンブリまたは
エクステンションケーブルの接続---------- 7
先端ツールの装着 ---------- 8
本機の点検---------- 8
作業場所のセットアップ---------- 9
操作方法 ---------- 10
清掃---------- 11
付属品---------- 11
保管---------- 11
点検と修理---------- 11
トラブルシューティングガイド---------- 12
保証や修理について ---------- 13

取扱説明書と製品本体には、安全に関する重要な内容を伝えるために記号や表示が使用されています。
ここでは、これらの記号や表示をよりよく理解してもらうための説明を記載しています。

**この記号は、安全に関する警告記号です。けがを負う可能性があることを警告しています。
けがや死亡につながる危険を避けるため、この記号が記載された文章に従ってください。**

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
この表示は、危険を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負うことがあります。	この表示は、警告を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負う可能性があります。	この表示は、注意を示します。記載内容を無視すると、軽度または中度のけがを負う可能性があります。

注意： この表示は、一般的な注意情報を示します。

この記号は、本機を使用する前に取扱説明書をよく読んでください、ということを意味します。
取扱用説明書には、本機を安全かつ適切に操作するための重要な情報が記載されています。

この記号は、目へのけがの危険を軽減するため、本機を取扱うまたは使用する際にサイドシールドのついた安全メガネやゴーグルを常に着用しなければならないことを意味します。

この記号は、ギヤ部分や可動部分に手指などがはさまれる危険があることを意味します。

この記号は、感電の危険があることを示しています。

安全上の注意事項

⚠ 警告

安全上及び操作上のすべての注意事項を読んで、よく理解してください。下記の注意事項に従わない場合、感電、火災や大怪我の原因となる場合があります。

本説明書を保管しておくこと!

作業場所での安全事項

- **作業場所をいつもきれいに保ち、十分な明るさを確保する。**
  作業場所をいつもきれいに保ち、十分な明るさを確保すること。
- **可燃性の液体、気体、大きなほこりがある場所など、爆発の危険のある環境で電気機器を操作しないでください。**
- **電気機器の操作中は、周囲に人が近づかないようにしてください。**
  人が近づくことで集中力が低下すると、誤操作の原因になります。

電気に関する安全事項

- **パイプやラジエータ、レンジ、冷蔵庫といったような接地した表面には接触しないようにしてください。**
  体が接地すると感電の危険性が増大します。
- **電気機器を雨や濡れた状態にさらさないようにしてください。**
  機器内部に水が浸入すると、感電の危険が高まります。

作業員に関する安全事項

- **本機を使用する際には注意を怠らず、作業の内容を把握し、また常識的判断をもって作業してください。**
  疲れていたり、薬やアルコールの影響下にある時は本機を操作しないでください。
  操作中の一瞬の不注意が大けがの原因となる可能性があります。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**
  常に足元を安定させ、バランスを保ちながら作業を行えば、作業中の不意の事態にも対応しやすくなります。
- **安全に作業を行うため、防具を着用してください。**
  常に保護メガネを使用してください。状況に応じて、防塵マスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などを使用してください。
- **適切な服装で作業を行ってください。**
  体にゆとりのある服やアクセサリーは着用しないでください。可動部には髪、衣服、手袋を近づけないでください。
  体にゆとりのある服や、アクセサリー、長髪が可動部に挟まる危険があります。

電気機器の使用と取り扱い

- **電気機器の無理な使い方を避けてください。用途に合った機器を使用してください。**
  適切な電気機器は、設計された定格で正しく、また安全に動作します。
- **電源スイッチの切り替えができない電気機器は使用しないでください。**
  スイッチで制御できない電気機器による作業は危険です。必ず修理してください。
- **使用していない電気機器は、子供の手の届かない場所に保管し、また機器やその操作方法を熟知した人だけが使用するようにしてください。**
  未熟練者による電気機器の操作は危険です。
- **電気機器には保守点検が必要です。可動部分の位置や噛み合わせが適切で、部品の破損がないこと、また機器の動作に影響するような状態がないことを確認してください。故障個所があれば、使用前に修理を依頼してください。**
  手入れが行き届いていない機器は、多くのけがの原因となります。
- **取扱説明書に記載の使用方法にしたがって、また作業の条件や内容を考慮して、電気機器や付属品を使用してください。**
  意図されていない作業に電気機器を使用すると危険です。

電池に関する安全事項

- **本機を清掃する際には、電池を取り外してください。**
- **本機を長期間保管する前に、電池は必ず取り外してください。**
- **電池が消耗したら、本機の電池をすべて新しいものに交換してください。**
- **指定されたサイズとタイプの電池のみを使用してください。**
- **電池収納ケースの表示どおりに、プラスとマイナスを正しい向きで取り付けてください。**
- **再充電式電池を使用するときには、ご使用になる電池の取扱説明書をよくお読みください。**
- **電池は適切に処理してください。**
  電池を高温にさらすと爆発する場合があるので火には投じないでください。端子にテープを張り、他の物と直接接触しないようにします。地方自治体により、電池の廃棄や処分方法に規制があります。適用法規を順守してください。

点検

- **電気機器の点検は資格のある技術者のみが行えます。**
  無資格者による保守点検作業はけがの原因になります。
- **電気機器の部品交換には、指定された交換部品のみを使用してください。**
  本説明書の「保守点検と修理」に記載されている指示にしたがってください。
  不適切な部品の使用や作業は感電やけがの原因になります。

⚠ 警告

ここでは、本製品について重要な安全上の注意事項を説明します。
感電や大けがの原因を軽減するため、本機を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。

本説明書を保管しておくこと!

本説明書を専用ケースに付いているフォルダーに保管して、いつでも参照できるようにしてください。

本機の点検や修理に関する質問がある場合は、電話またはメールでご連絡ください：

日本エマソン株式会社 リッジ事業部
〒105-0022
東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワービル 7F
TEL：(03)5403-8560(代) FAX:(03)5403-8569
(祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00～17:00)
メールアドレス：Ridgid@emerson.co.jp
http://www.ridgid.jp

シースネイク マイクロ ハンディスコープIIの安全事項

- **感電や機器破損の原因になりますので、ピストルグリップ部分やディスプレイを水に沈めないでください。**
  本機が完全に組み立てられていると、カメラヘッドケーブルアッセンブリは防水ですが、ディスプレイは防水処理されていません。
- **電荷が存在しているような場所の近くに本機を設置しないでください。**
  感電の危険が高まります。
- **可動装置があるような場所の近くに本機を設置しないでください。**
  引き込まれたり、はさまれたりして、けがをする危険が高まります。
- **医療上の作業に本機を使用しないでください。**
  本機は医療機器ではありません。意図されていない用途に使用すると、けがの原因になります。
- **本機を取り扱う際は、常に適切な防具を着用してください。**
  排水管とその周辺には化学薬品、バクテリアなど、有毒、感染性の他、やけどなどの原因になる物質が存在している場合があります。
  保護メガネと手袋は常に着用し、必要に応じてゴム手袋、フェイスシールド、ゴーグル、防護服、呼吸装置、安全靴などを着用してください。
- **衛生状態に注意してください。**
  本機で排水やその周辺を検査した後は、化学薬品やバクテリアを洗い流すため、手指や露出している身体部分をせっけん水で洗ってください。
  有害な物質や感染症を引き起こす物質からの汚染を防ぐため、本機の操作中もしくは取り扱い中は、物を食べたり、喫煙したりしないでください。
- **オペレーターの足元や本機の設置場所に水がある状態で操作しないでください。**
  感電の危険が高まります。

機能概要・仕様・標準装備

機能概要

本機は、画像センサーと 90 cmのケーブルに取り付けられた光源からのカラー映像を表示します。狭い箇所を検査するのに使用でき、カラー映像をリアルタイムでカラーLCDに映し出します。
通常の使用では、φ17mmのカメラヘッドを使います。狭い場所を拡大して目視検査をするときは、φ9.5mmのカメラヘッドが利用できます。
いずれのカメラヘッドケーブルアッセンブリも相互交換が可能で、オプションの付属品として購入することができます。本説明書では、両方のカメラヘッドについての説明が記載されています。

通常の使用用途

本機は、検査器具として設計されています。通常の用途には、HVACの検査（図1）、車両検査（図2）、ケーブル配線、船舶または航空機の検査などがあります（ただしこれらのみに限定されるわけではありません）。

図1 HVACの検査

図2 車両の検査

仕様

使用場所	屋内
可視距離	2.5 cm ～ 30 cm
電源	単三アルカリ電池 1.5V x4
電池寿命	約 6 時間（連続使用の場合） ※LED 光量調整と使用状況により異なります。
質量	0.5 kg
寸法	
長さ	17.8 cm
幅	9.2 cm
高さ	15.9 cm
ディスプレイ	
解像度	160 x 324 RGB
モニター	2.5 インチ LCD
動作環境	
温度	0°C ～ 45°C
湿度	5% ～ 95%（ディスプレイ部分について結露のない状態）
保管温度	-20°C ～ 70°C
防水	カメラヘッドケーブルアッセンブリおよびエクステンションケーブル（水深 3 m まで）（正しく接続されている場合）
ケーブル長さ	90 cm（オプションのエクステンションケーブルを使用した場合、最長 9 m まで）
ビデオ出力	アナログ RCA ケーブル/ピンジャック(90 cm)

標準装備

本機には、それぞれのカタログ番号で以下が付属されています。

図 3 カタログ番号 31118（φ17 mm カメラヘッド）

図 4 カタログ番号 31123（φ9.5 mm カメラヘッド）

本機の組み立て

警告

本機使用中のけがを防止するため、下記の手順に従い適切に組み立ててください。

電池の入れかた

1. 本体ディスプレイユニットを逆さにし、バッテリーカバーが上になるように置きます。（図 5）

図 5 バッテリーカバー

2. 親指でロックボタンを中央部にスライドさせ、バッテリーカバーのロックを外します。

3. ロックが外れたら、カバーを持ち上げて外します。（図 6）

図 6 バッテリーボックス

4. バッテリーボックスを取り出し、新しい単三アルカリ電池 4 本（付属）をバッテリーボックスの正しい位置に入れます（図 6）。電池を交換する場合は、すべて同時に交換してください。電池の液漏れを防ぐため、必ずセットで交換するようにしてください。電池の正しい方向は、バッテリーボックスに表示されています。本機は、電池が正しく入っていないと動作しません。

5. バッテリーボックスを入れるときは、突起部分が図に示した方向になり、突起の高くなっている側が LCD 側を向いていることを確認してください。

6. バッテリーカバーを戻し（図 6）、バッテリーカバーを押しながら、ロックボタンを中央部にスライドさせて固定します。

カメラヘッドケーブルアッセンブリまたはエクステンションケーブルの接続

本機の使用には、カメラヘッドケーブルアッセンブリを本体ディスプレイユニットに接続することが必要です。ケーブル側のキーと本体側のスロットの位置が合っていることを確認したうえ（図 7）、指でノブを締め込んでケーブルを確実に接続します。

図 7 ケーブルの接続

オプションのエクステンションケーブルを使用して、ケーブル長を 9 m まで伸ばすことが可能です。エクステンションケーブルを装着する場合は、ノブをゆるめてディスプレイユニットからカメラヘッドケーブルアッセンブリを取り外してから、図 7 の通りに接続してください。カメラヘッドケーブルアッセンブリ側のキーをエクステンションケーブル側のスロットに合わせ、ノブを指で締め込んで接続します。

先端ツールの装着

3 種類の先端ツール（ミラー、フック、マグネット）（図 3 または図 4)は、いずれも同様の方法でカメラヘッドに装着できます。カメラヘッドのサイズによりφ17 ㎜ 用とφ9.5 ㎜ 用の先端ツールがあります。使用しているカメラヘッドに合った適切なサイズの先端ツールを使用してください。

カメラヘッド部を図 8 または図 10 のように置き、装着する先端ツールの半円部分をカメラヘッドのフラット部にはめ込みます。先端ツールを 4 分の 1 回転させて、アームがカメラヘッドから真っ直ぐ伸びるようにします（図 9 または図 11）。

図 8

図 9 先端ツールの装着（φ17 ㎜ カメラヘッド）

図 10

図 11 先端ツールの装着（φ9.5 ㎜ カメラヘッド）

注意

カメラヘッドは回転させないこと。回転させると破損の原因になります。

本機の点検

警告

本機を使用する前に必ず点検してください。感電などの原因による大けがの危険を軽減し、ツールの破損を防止するため、点検の結果、問題があれば適切な措置を講じてください。

1. 電源が切れていることを確認してください。

2. バッテリーボックスを取り外して、本機と電池に破損がないか点検します。必要があれば、電池を交換してください。破損している電池は、使用しないでください。

3. 持っている手から本機がすべり落ちないように、特にピストルグリップとコントロール部分に付いた油、グリース、ごみを拭い取ってください。

4. ピストルグリップ部分にひび割れなど、正常な使用の障害になる破損がないかを点検します。ピストルグリップが破損している場合には使用しないでください。

5. カメラヘッドレンズに結露がないか確認してください。故障することを防ぐために、レンズ内部が結露している場合はカメラを使用しないでください。必ず水分を蒸発させてから使用してください.

6. ケーブルにひびや破損がないか、その全長を点検します。ケーブルが破損していると、本機内部に水が入る場合があり、感電の危険が高まります。

7. 本体ディスプレイ、エクステンションケーブルまたはカメラヘッドケーブルアッセンブリが、正しい方法で確実に接続されていることを確認して、ケーブル内部に水が入り込まないようにします。本機が正しく組み立てられていることを確認してください。

8. 警告ラベルが貼付され、警告内容が読める状態になっていることを確認します。警告ラベルが貼付されていない状態で、本機を操作しないでください。

図 12 警告ラベル

9. 乾いた手で電池を再び装着して、カバーを確実に閉じます。

10. 電源を入れると、ディスプレイ上に映像が映し出されます。問題が生じた場合は、本説明書のトラブルシューティングガイドを参照してください。

11. 電源を切ります。

作業場所のセットアップ

警告

感電や可動部分に引き込まれたりすることなどによるけがの危険を軽減し、また本機やシステムの破損を防ぐため、本機と作業場所のセットアップは、以下の手順に従って行ってください。

1. 作業場所の点検

- 十分な明るさがあること。
- 引火性のある液体、発火のおそれのある気体、ほこりがないこと。これらが存在する場合は、物質を特定して状況が改善されるまで作業を開始しないでください。本機は防爆処理されておらず、火花を発生させることがあります。
- 作業場所が整理整頓されており、平坦でかつ乾燥していること。足元に水がある状態で本機を操作しないでください。

2. 検査しようとする場所が、本機の使用に適しているか点検してください。

- 検査場所への経路を確認します。カメラヘッドが通過できる最小幅は、φ17 ㎜ カメラヘッドの場合、直径約 19 ㎜ の広さが、φ9.5 ㎜ カメラヘッドの場合、10 ㎜ の広さが必要になります。
- 検査場所までの距離を測定します。エクステンションケーブルを使用することで、最長 9 m まで距離を伸ばすことができます。
- ケーブルを急角度で曲げなければならないような障害物がないか点検します。検査カメラのケーブルを安全に曲げることのできるのは半径約 5 ㎝ までです。
- 検査場所に供給されている電源の有無を確認します。感電の危険を軽減するため、その電源を切ってください。検査中に再び電源が入ることを防ぐため、電源の遮断を確認してください。
- 検査場所での液体の有無を確認します。ケーブルとカメラヘッドは、3 m までの防水処置が施されていますが、この深さを超えるとケーブル内、カメラヘッド内に水が浸入し、感電や機器故障のおそれがあります。また、本体ディスプレイユニットは防水ではありませんので、水には濡らさないでください。
  特に排水管内の検査では、化学薬品の有無を確認してください。化学薬品が存在する環境で本機を操作する場合は、具体的な安全対策を理解しておくことが重要です。薬品の製造メーカーに問い合わせるなどして、化学物質による本機の故障や劣化を防止してください。

- 検査場所とそこに設置されているものの温度を確認してください。本機が正しく動作できる温度は 0～45℃ で、作業環境や接触するものがこの範囲を超える場合は故障の原因となります。
- 検査しようとする場所での可動部分の有無を確認してください。ある場合は、検査中に衣服や手指を引き込まれないように可動部分の電源を必ず切ってください。また、検査中に動き出さないように電源の遮断を確認してください。

3. 本機の点検は確実に行ってください。

4. 用途別に正しい付属品を装着してください。

操作方法

警告

ほこりやその他の異物から目を守るため、必ず保護メガネやゴーグルを着用してください。
感電、可動部分による引き込みなどによるけがの危険を軽減するため、操作に関する指示にしたがって使用してください。

1. 取扱説明書の全ページを読んで、安全事項、操作に関する指示をよく理解してください。

2. 「本機の組み立て－電池の入れかた」の指示に従って電池を入れてください。

3. 本機の点検を適切に行ってあるかどうかを使用前に確認します。

4. 本機と検査場所が適切にセットアップされ、検査場所には関係者以外がいないこと、また操作中の注意を妨げるようなものがないことを確認してください。

5. 本機操作の準備を行います。正しく検査を実施するために、本機のケーブルをあらかじめ曲げたりする必要があります。ケーブルの曲げ半径を 5 cm 以下にしないでください。破損の原因になります。
   ケーブルを取り扱う際には過度な力を加えないでください。電気機器や検査場所の破損の原因になります。

   本機は検査以外の目的に使用しないでください。
   意図された目的以外に使用すると、電気機器や検査場所の破損の原因になります。
   本機は、排水管清掃機または電動/排管用フィッシュスティック/テープの代用にはなりません。先端ツールは、限定された状況において、落とした指輪やネジのような小さなものを回収する目的に使うことができます。
   5 cm 以下の曲げ半径が必要な環境でカメラヘッドケーブルを使用しないでください。
   きつくケーブルを曲げると破損の原因になります。

6. 本機の電源を入れるには、LCD 画面が手前にくるように向け、電源ボタンを押します。（図 13）＋ボタンを押すと LED の光度が上がり、－ボタンを押すと光度が下がります。
   電源を切るには、もう一度電源ボタンを押します。
   電池残量を示すインジケータライトが電源ボタンの真上にあります。（図 13）このライトが緑の時には機器の電源が ON になっていることを示します。このライトが赤点滅の時は電池残量が 25%未満であることを示します。

図 13 コントロール部

7. 本機には、映像を大きな TV モニターなどに出力できるように、RCA ジャックが付属しています。ゴムの保護カバーを外し、コードのピンジャックを本体ディスプレイユニットに差し込み、RCA ジャックを外部モニター機器の RCA 端子に接続してください（図 14）。
   （外部の TV モニターに関する取り扱いについてはメーカーの取扱説明書に従ってください）

図 14 RCA ケーブル

清掃

警告

清掃作業を行う前に、必ず電池を取り外してください。

- 本機の使用後は、中性洗剤を使って必ずカメラヘッドとケーブルからほこりや油分を取り除いてください。
- 画面は乾いたきれいな布で軽く拭いてください。その際、画面表面に力をかけ過ぎないようにしてください。
- 接続部の清掃にはアルコールをしみ込ませた綿棒を使用してください。
- 本体ディスプレイユニットは乾いたきれいな布で拭いてください。

付属品

警告

下記の付属品のみ本機と正しく動作するように設計されています。
他機との使用が可能な付属品であっても、本機と使用すると危険な場合があります。大けがの危険を軽減するため、以下に記載されている本機専用に設計、推奨されている付属品のみを使用してください。

シースネイク マイクロ ハンディスコープII

部品番号	部品名
26663	カメラヘッドケーブルアッセンブリ（φ17 mm カメラヘッド）
26668	先端ツール 3 種セット（φ17 mm 用）（ミラー、フック、マグネット）
30068	カメラヘッドケーブルアッセンブリ（φ9.5 mm カメラヘッド）
30223	先端ツール 3 種セット（φ9.5 mm 用）（ミラー、フック、マグネット）
26658	エクステンションケーブル 90 cm
31128	ユニバーサル エクステンションケーブル 90 cm
31133	ユニバーサル エクステンションケーブル 180 cm

保管

警告

本機を乾燥した 0°C～45°Cの安全な場所に保管してください。本体、電池、カメラヘッドケーブルアッセンブリはケースに収め、子供の手の届かない、また関係者以外が立ち入れないかぎのかかる場所に保管してください。

点検と修理

警告

点検や修理が不適切に行われると、操作の安全性を損なうことがあります。

本機を点検する場合、交換する部品は必ず同じものを使用してください。その他の部品を使用すると、感電もしくはその他重度のけがの危険性があります。保守点検や修理の後は、当社技術者に安全性の検査を依頼して、使用に適した状態にあることを確認してください。

本機に関するご質問は下記まで、電話またはメールでご連絡ください。

日本エマソン株式会社 リッジ事業部
〒105-0022
東京都港区海岸 1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワービル 7F
TEL：(03)5403-8560(代) FAX：(03)5403-8569
(祝祭日を除く月曜日から金曜日 9:00～17:00)
メールアドレス：Ridgid@emerson.co.jp
http://www.ridgid.jp

修理品は下記まで送付をお願いいたします。

日本エマソン株式会社
リッジ事業部 川崎商品センター
〒210-0856
神奈川県川崎市川崎区田辺新田 1-1
富士物流㈱京浜物流センター内
TEL：(044)328-2244 FAX：(044)322-5533

トラブルシューティングガイド

症状	原因	解決方法
ディスプレイユニットの電源は入っているが、画像が表示されない。	ケーブルがしっかり接続されていません。	ケーブルの接続状態を確認し、必要なら清掃を行ってください。 再接続してください。
	電池が正しく入っていません。	電池を正しく入れてください。
明るさを最大に設定してもカメラヘッドＬＥＤが暗い。	電池残量がありません。	電池を交換してください。
LED ライトが点灯。ディスプレイ画像が黒と白に変化する。		
画像がしばらく経過すると OFF になる。		
電源が入らない。		

保証や修理について

保証期間：
保証は製品のご購入日から１年間とします。ユーザー登録された方のみ対象となりますので、必ず、同封のユーザー登録葉書に必要事項をご記入いただき投函してください。また、ご購入時の領収書は大切に保存してください、保証修理時に必要となります。

保証の範囲：
本機の製造上および、材料に欠陥があった場合のみ保証の対象となります。

保証の適用対象外の事項について：
誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。また、消耗品等の自然消耗、劣化などの理由による交換や修理は対象外となります。弊社は、本製品の故障、又はその使用によって生じた、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。

保証対象：
製造または材料の欠陥以外の理由で製品が使用不能になったときには、保証の適用は終了します。

保証や修理を受けるときには：
本機をご購入いただいた販売店にお持込ください。または、運賃前払いにて弊社商品センターに発送してください。

保証や修理方法：
保証や修理対象の製品は、弊社の選択により、修理または交換して返送いたします。保証対象外の製品については、有償にて修理をいたします。

保証の適用対象外の事項について：
誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。弊社は、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。

修理を受けるときには：
本機をご購入いただいた販売店にお持込ください。または、運賃前払いにて弊社商品センターに発送してください。また、修理内容にかかわらず返送時の運賃はお客様のご負担となります。

保証の適用について：
弊社に代わって、販売店、代理店などが本保証を変更したり、別の保証を提供したりすることはありません。